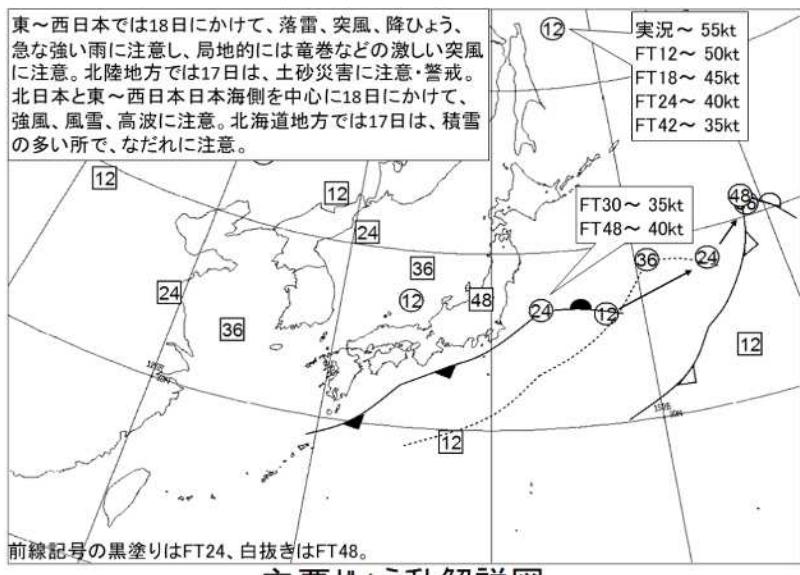


短期予報解説資料 2025年12月17日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 低気圧が日本海西部を東南東進。低気圧の前面では、1時間約10mmの降水を解析し、発雷を検知。低気圧が日本の東を東北東進。
- ② 500hPa 4980m以下で-39°C以下の寒気を伴う寒冷渦対応の低気圧がオホーツク海をゆっくり南西進。
- ③ 高気圧が日本の南を東へ移動。高気圧と②のオホーツク海の低気圧との間で気圧の傾きが急となり、北海道地方では、非常に強い風を観測し、3時間3cm前後の降雪を観測。華北では高気圧が南東へ移動。
- ④ 500hPa 5520m付近で-27°C以下の寒気を伴うトラフがボッ海付近を東南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の日本海西部の低気圧は、1項④のトラフに対応しながら、17日朝にかけて日本海を東南東進し、17日夜までに本州の日本海側沿岸で不明瞭化する。1項①の日本の東の低気圧は18日にかけて日本のはるか東へ東北東進後に不明瞭化する。一方、17日夜までに1項④のトラフ対応の前線を伴う低気圧が日本の東で発生し、18日にかけて日本のはるか東へ東北東進する。日本海の低気圧と日本の東の低気圧及び前線に向かう下層暖湿気と上空の寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う強い雨の降る所がある。東～西日本では18日にかけて、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意し、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北陸地方では17日は、土砂災害に注意・警戒。また、1項①の日本海の低気圧や1項②のオホーツク海の低気圧と1項③の日本の南の高気圧との間で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、しける所がある。北日本と東～西日本日本海側を中心に18日にかけて、強風、風雪、高波に注意。北海道地方では17日は、積雪の多い所で、なだれに注意。
- ② 1項③の華北の高気圧は、18日にかけて東シナ海へ進み、18日夜までに不明瞭化する。一方、17日朝までに沿海州付近で高気圧が発生し、18日夜にかけて本州付近へ移動するため、日本付近は広く高気圧に覆われる。この高気圧は19日にかけて日本の東へ移動し、日本付近は高気圧の後面流が入りやすい場となる。また、500hPa 5340m付近で-27°C以下の寒気を伴うトラフに対応した低気圧が前線を伴い、中国東北区を東進。19日夜には、前線が大陸沿岸付近へ進む。日本の東の高気圧と大陸の低気圧や前線との間で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。また、日本の東の高気圧縁辺の吹送・吹続の長い南東風の影響で、波が高くなる所がある。北日本と南西諸島では19日は、強風、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所（100mm以上）はない。② 降雪量(06時からの24時間)：北海道30cm。③ 波浪(明日まで)：北海道4、北陸・近畿・中国3m。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。